



Come on



徳島文理大学人間生活学部 児童学科だより No.012 令和2年11月



徳島文理小学校で理科の授業を参観しました

児童学科3年生24名が、「理科教育法Ⅰ」の授業の一環として、文理小学校6年生の理科授業を参観しました。実際の授業を通して、理科の問題解決学習の進め方や実験の指導の仕方などを学び、11月からの模擬授業の実践に生かします

授業では、薄い塩酸に溶けて見えなくなった鉄やアルミニウムがどうなったのかを予想し、調べる実験をしました。



学生の感想(抜粋)

- 授業が始まる前、安藝先生が「思考力を高める授業にし、言語化させることに視点をおく」とおっしゃっていたので、具体的にどういう取り組みをされるのかに注目して参観していました。
- 子どもたちが発言する際には「どうして」と必ず根拠を求めることで、説明する力や理由を自分の頭の中で整理できる力を身に付けさせることができると感じました。



- 授業中は常に児童が学ぼうという姿勢を持ち続けており、問いに対する発言や実験に積極的に取り組んでいました。発問に対する児童の反応や実験での取り組み方などは自分が想像していたものより新鮮で、やはり教育現場でしか味わえないものがあると感じました。
- 授業全体を通して、児童が主体的に学んでいた印象がとても強かったです。
- まず実験用具や椅子の配置、準備物まで子どもたちが自身が用意するということが驚きました。自分で考えて行動するという意識しているのだと感じました。また、ガスコンロや危険な実験の際は、全員でしっかり注意事項を確認して行っていくことが子どもたちの意識づけにつながるのだと感じました。
- 板書は授業中黒板いっぱいを書くことばかり考えていましたが、黒板も必要最低限の内容でとてもわかりやすく、とても勉強になりました。

令和2年度実施 採用試験合格状況 (11月26日現在)

幼・保 9名

吉野川市 1 北島町 1
 四国中央市 1 直島町 1
 高知市 1 徳島市 1

※高松市2(最終結果待ち)

小学校 18名

高知県 11 徳島県 3
 愛媛県 2 沖縄県 2

観音寺市 1
 姫路市 1
 東かがわ市 1

ボランティア活動の紹介 ファミリースペース富田 しゅくだいカフェ

ボランティアスタッフが見守る 子どもたちのサードプレイス

午後15時を回ると学校を終えた子どもたちが続々とやって来る。「こんにちは!」と挨拶したら空いてる席に座って各自が宿題と向き合う。わからないことがあれば、大学生や教職を引退したボランティアスタッフがアドバイスしてくれる。こちらは、徳島市富田地区の子どもたちが放課後自由に集まる「しゅくだいカフェ」だ。運営するのは徳島新聞富田専売所。所長の七田伸也さん(47・東みよし町出身)は「忙しい子育て世代の親御さんが、平日の夜の子どもの時間を穏やかに過ごせるように

援したいんです。仕事を終えて家に帰ったとき、子どもが宿題を終わらせていたら、親子の団らんの時間が持てると思うんです」と話す。利用料は無料、対象は小学生で、自分で通えることが条件だ。

「これどういう意味?」「終わったけん、遊ぼう!」カフェで引っ張りだこになっているのは、1年前からボランティアスタッフをしている遠藤雅大さん(20・文理大2年)。「大学で募集しているボランティア情報を見て参



大学生のボランティアスタッフ遠藤雅大さん。



みんな宿題を終えてゲームを楽しんでいるところ。多い日は20人ほどが訪れる。

加するようになりました。最初は緊張していたんですけど、どちらかという…子どもたちの方から心を開いてくれました。一人ひとりが思っていることや、言葉には出さないけど考えていることなどを理解できるように努めています。学校や家とはまた違う、心を開放できる場所にしていきたいと思っています」。大学卒業後は小学校の教師になりたいと情熱を注ぐ。

徳島新聞 starttスタート掲載 2020/6/25

(1)

Q:大学の授業は、高校の授業とどのような違いがありますか

A:この質問に対する答えは、以下のような側面から考えていくことができます。

項目	高校	大学
クラス	固定クラスで決められた教室を使う	クラスはなく、授業ごとに様々な教室へ移動する。他学部や異なる学年の学生と一緒に同じ授業を受けることもある。
教科書	決められた教科書を使う	同じ科目でも、先生によって教材が異なる。教材は教科書、プリント、参考書など様々であり、教材がない授業もある。
出欠席	毎朝確認する	出欠は自分でチェックし、管理する。
先生	授業は教員免許を持った先生が行う	授業は学問の専門家であり、研究者である先生が行う。
卒業	多くの高校は出席日数と成績で決まる	4年間で定められた単位を修得する。科目ごとの定期試験をクリアすると単位が与えられる。
学びの目的	与えられた問題の解法を学ぶ	問題を自分で見つけ、答えを求めて調べ、考え、仲間と論議し、自分の考えを整理して表現する。
授業	教科書に沿って学ぶ	①講義：先生の話聞いて、ノートを取る。講義の進め方は、先生によって異なる。(教科書に沿う。配布するプリントに沿う。板書を中心に行う。キーワードのみ黒板に書く。パワーポイントなどスライドを用いて行う。) ②実習・実験：仮説をもとに実験したり、データや資料を集めて分析したりする。節目ごとにレポートを提出する。 ③演習・ゼミナール：少人数でテーブルを囲み、学生が調べ、考えたことを発表し、それをもとに学生同士で討議を行う。学期末には、まとめのレポートを提出する。